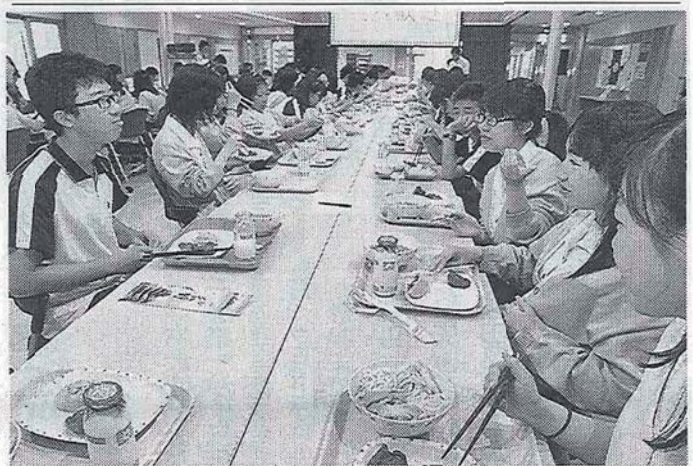


給食味わい理科実験

北京の
高校生 松本秀峰学校で交流

修学旅行で来日中の中国・北京市第八十中学校の生徒らが十三日、松本市の中高一貫校松本秀峰中等教育学校を訪れ、給食や授業体験で交流を深めた。

高校一年生に当たる男女十五人で、市内の浅間温泉や国宝松本城



給食を食べながら交流する中国の生徒(左)と日本の生徒ら＝松本市の松本秀峰中等教育学校で

などを見学した後、訪れた。全校生徒二百五十人が歓迎し、生徒会長(二)の岩淵可奈さん(二)が国際交流などをうたった建学の精神を英語で述べ、「交流して互いの考えを共有したい」とあいさつした。

給食では野菜菜のお

やきなどを味わいながら、日本のアイドルや漫画の話題に花を咲かせた。初来日という女子生徒の黄文歌さん(二)もは「新旧の日本文化を学べて良かった」と笑顔を見せた。

午後は理科の実験や剣道の部活動と一緒にした。一行は県の修学旅行誘致事業で招かれ、上田市でホームステイも体験する。

(安藤孝憲)